

逗子市緊急財政対策本部会議（平成29年度第4回）  
（ 概 要 ）

会議の名称：逗子市緊急財政対策本部会議

日 時：平成29年10月23日(月) 14:33-15:22

場 所：庁議室

出席者：平井市長、柏村副市長、村松教育長、和田経営企画部長、福井総務部長、若菜市民協働部長、須藤福祉部長、田戸環境都市部長、草柳消防長、原田議会事務局長、石黒教育部長、山田教育部担当部長（子育て担当）、菊池選挙管理委員会事務局長兼監査委員事務局長

欠席者：なし

代理者：なし

陪席者：廣川総務部次長、三ッ森総務課長

事務局：福本経営企画部次長、佐藤財政課長、園部財政係長、財政課金子主事

作成者：財政課 園部係長

## 会議概要

※開始時間を13:30から14:30に変更。

### 1 開会

（市 長）9月の議会で中間報告を行った以降、残された課題を整理した。併せて人件費や残された対策も整理した結果、7億の財源の捻出を行う財政対策プログラムの策定に至った。

平成30年度の取り組みとして、人件費の削減で約2億7,000万円、事務事業の見直しで約2億6,000万円、国民健康保険事業特別会計への法定外繰出金の削減で約1億円、ごみ処理広域化による効果で約7,000万円とともに、平成31年度から34年度までの財政対策をまとめた。

詳細は事務局から説明させる。

### 2 財政対策プログラムについて

#### （事務局）「財政対策プログラム」の説明

（市 長）行政委員会の報酬見直しについては、まだ方向性が確定していない状況であるが、削減額の確定に向けた最終調整を進めること。

現時点での中期の財政見通しの中では、市税収入が90億7,400万円ということで、29年度と比較しても3億3,000万円のマイナスという厳しい見込みが示されている。他にも厳しい見込みはあるのか。

（経営企画部長）経常経費の予算要求枠を守っていただく必要があると考えている。

（市 長）国民健康保険やごみ処理広域連携など、年内中に細部の検討を進めることで、数字に変更が生じることもある。歳入・歳出を改めて精査しながら、予算を確定していく。

この4か月間、精力的に検討を進め、財政対策プログラムを策定できた。これは皆さんの努力の賜物である。これからが始まりでもあるので、さらに気を引き締めて進めていきたい。

(議会議務局長) 人件費の削減内容は、固まっている内容もあるが、確定はいつ頃を予定しているのか。

(総務部長) 個別の項目については、この金額を予定し、削減の目標額は2億7,000万円としている。ただし、時間外勤務手当の額をもう少し削減できるか、非常勤事務嘱託員の削減がどこまで削減できるかの調整がある。まずは1億6,000万円を目標に、組合との協議を進めていく。

(市長) 特別職は、市長、副市長、教育長で決定するので、対応は12月議会の条例改正を視野に入れて、期末と給与を合わせた削減と、来年度1年間の削減で1,000万円の削減を想定している。一般職職員については、職員組合との調整結果を踏まえて行っていくことになる。

なお、2億7,000万円の中には、今のところの“オ”の行政委員会の報酬見直しは含まれていない。ここで可能となった削減額は、削減額の上乗せとなる。また、歳出の部分では、扶助費などの増要素もあり、その増額分などに行政委員会の削減額を充てていくことになる。

### 3 その他

(事務局) この財政対策プログラムについては、25日決裁を予定しているので、気が付いた点や修正がある場合は24日中に財政課まで連絡いただきたい。

〈 配付資料 〉

- ・次第
- ・資料 財政対策プログラムについて